



ダイマジン (水和剤)

農林水産省登録 第20348号

適用病害と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用 回数	使 用 方 法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数	フェンヘキサミド を含む農薬の 総使用回数
りんご	斑点落葉病	1000倍	200~700ℓ/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	8回以内(液 剤及び水和 剤は合計6回 以内(開花期 以降は3回以 内)、塗布剤 は2回以内)	2回以内
みかん	灰色かび病 そうか病	1500倍		収穫14日前 まで			3回以内	
	汚れ果症						2回以内	
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病 そうか病	1000倍		収穫前日 まで			3回以内(休 眠期は1回 以内)	
	汚れ果症		3回以内					
もも	灰星病 ホモブシス腐敗病 黒星病	1500倍	150~300ℓ/10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	7回以内	3回以内
おうとう	幼果菌核病			3回以内				
きゅうり	灰色かび病 うどんこ病 菌核病			10回以内(育 苗期は5回以 内、本圃では 5回以内)				
トマト	灰色かび病 葉かび病	2000倍	150~300ℓ/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内	3回以内
なす	灰色かび病 すすかび病							
いちご	灰色かび病 うどんこ病	2000倍						





⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用する。
- ももに使用する場合、缶桃14号等の缶詰用品種では葉に薬斑を生じるので使用しない。
- りんごに使用する場合、芽出し2週間過ぎから落花後25日頃まではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の使用はさける。
- 西洋なし品種ル レクチエではさび果を生じるので、かからないように注意する。
- かきの品種西村早生では葉に薬斑を生じるので、かからないように注意する。
- 本剤をおうとうに使用する場合、着色期の散布では薬害（着色障害）が生じるおそれがあるので使用しない。
- 幼果期のメロン、ばらに対して薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意する。
- 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布する。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節する。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意



- 誤飲、誤食などのないよう注意する。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は保護眼鏡、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。

治療法…該当なし

魚毒性等…水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具の洗浄水は、河川等に流さない。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない、冷涼・乾燥した所。

- PRTR法
- 火災時は適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
 - 漏出時は、保護具を着用し掃き取り回収する。
 - 移送取扱いは、ていねいに行う。
 - 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。

